

(1) 平成 25 年度 ウミガメ保護監視業務報告

①業務内容

屋久島町では、本町の豊かな自然環境を構成する貴重な野生動物であり、かつ、学術的及び文化的価値を有するウミガメの保護を図り、将来の人々の共有の資産として継承していくため、鹿児島県ウミガメ保護条例(昭和 63 年条例第 6 号)の趣旨に基づき、鹿児島県から権限移譲を受け、ウミガメ保護監視業務を実施している。

具体的には、5月中旬からのウミガメの産卵シーズンに合わせて、主にウミガメが産卵に訪れたり見学者が訪れたりする町内の砂浜において、ウミガメ保護監視業務員(団体)を配置し、産卵に訪れたウミガメが人為的な悪影響を受けないように、鹿児島県のウミガメ保護監視実施要領に基づき、観察ルールの周知やモニタリング調査等を行っている。

②実施結果

地 区	上陸数	産卵数	見学者数	実施期間	実施団体
栗生地区 (栗生・サゴシ・大川浜)	80	54	523	5月20日～ 7月15日	鳴瀬グループ(栗生浜) 7名 ほたるの会(サゴシ浜) 6名 メヒルギ(大川浜) 5名
中間地区 (中間浜)	39	17	58	5月20日～ 7月15日	中間ガジュマル会 5名
安房地区 (田代浜)	39	14	40	5月20日～ 7月15日	谷口 6名
一湊地区 (一つ浜、二つ浜)	51	22	60	5月20日～ 7月15日	一湊を語る会 24名
永田地区 (いなか浜、前浜)	941	318	2098	5月20日～ 7月15日	永田ウミガメ連絡協議会(いなか浜) 6名 永田浜ファンクラブ(前浜) 18名
口永良部地区 (向江浜)	47	17	0	5月20日～ 7月15日	えらぶ年寄り組 7名
合 計	1197	442	2779		

※実施期間のうち、20日程度実施

○監視員を配置することで、ウミガメの観察に訪れる観光客等に対し、観察のマナー等を徹底して指導することができ、また、上陸産卵状況のモニタリングも一部行う事ができた。

○平成 25 年度の保護監視団体は、平成 24 年度の 6 団体から 9 団体に増加しており、その内 5 団体が新規受託者となった。また、口永良部島において町の単独事業として保護監視業務を行い、より多くの町民の参加のもと、監視活動を行う事が出来た。 【委託料 1,178,000 円】

○栗生小学校、中間ガジュマル会でそれぞれ子ガメの放流会を実施しており、ウミガメを通じて自然の大切さを学ぶ機会を提供できた。

③ウミガメ捕獲等許可状況 4件（親ガメ：約20頭 子ガメ：約220匹 卵：約1,440個）

- ・東京大学大気海洋研究所 行動生態計測分野 畑瀬英男 氏（卵：約200個 親ガメ：約20頭）
- ・子々孫々の口永良部島を夢見るえらぶ年寄り組 代表 後藤利幸 氏
（卵：約1,000個 子ガメ：約200匹）
- ・屋久島町立栗生小学校 校長 野間茂樹 氏（卵：約240個）
- ・中間ガジュマル会 代表 川崎太一 氏（子ガメ：約20匹）